

この度、Immuno-Oncology ワーキンググループ企画セミナー「激論！irAE 対策チームビルディング～免疫チェックポイント阻害剤と永く付き合うために～」を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

本セミナーは、持続可能な irAE 診療体制の構築を目指すことを目的としております。

詳細は [こちら](#) のチラシをご確認ください。

<<セミナー概要>>

激論！irAE 対策チームビルディング

～免疫チェックポイント阻害剤と永く付き合うために～

開催日程：2026年1月10日(土)15時～17時

開催様式：ハイブリット開催

現地：AP 東京八重洲（定員100名）

（東京駅八重洲中央口より徒歩6分）

Web: ZOOM

参加費：無料

参加対象：全国のがん医療に携わる医師、薬剤師、看護師などの医療者

申込方法：

下記の登録フォームもしくは、チラシ内の QR コードからお申込みください。

よろしくお願い申し上げます。

現地参加：<https://forms.gle/ndmC9KKdkDBAZcjh7>

Web 参加：<https://forms.gle/wnmTie1SEZvhnA9V9>

詳細チラシは [こちら](#)

本セミナー問合せ先

Immuno-Oncology ワーキンググループ

jascc-io@googlegroups.com

* 本教育事業は、MSD 株式会社（公募型）医学教育事業助成の資金提供を受けて実施しています。MSD 株式会社は、当該事業の企画・実施・管理に一切関与しておりません。



激論！ irAE対策チームビルディング ～免疫チェックポイント阻害薬と永く付き合うために～

開催日時 令和8年1月10日 15時～17時

参加費 無料

開催方式 ハイブリッド開催

事前参加登録期間

現地 AP東京八重洲 Room F+G (定員100名)

令和7年11月10日(月)～12月26日(金)

Web ZOOM (無制限)

セミナー参加登録は下記QRコードから▼

総合司会

奈良総合医療センター 総合診療科 部長
国立国際医療センター 薬剤部

東光久
松井礼子



現地参加

Web参加

基調講演 15:10～

チームで支える免疫チェックポイント阻害薬治療 ～免疫関連有害事象対策における各職種の役割とは～

演者 みうらクリニック 院長 三浦理

パネルディスカッションセッション 15:50～

～免疫関連有害事象対策チームが直面する課題と未来～

このセッションでは、事前に収集したアンケートに基づき様々な課題についてディスカッションを行います。
ぜひ多くのご質問を頂けますようお願いいたします。

テーマ

①IO治療におけるチーム医療の現在地

～適切なスクリーニングとフォローについて～

座長

国立がん研究センター東病院 循環器科

田尻和子

がん研究会有明病院 看護部

長崎礼子

②激論！ IO対策チームは役に立つか？

パネリスト

聖マリアンナ医科大学病院 腫瘍内科

伊澤直樹

北九州市立医療センター 腫瘍内科

佐藤栄一

新潟県立新発田病院 看護部

磯貝佐知子

北九州市立医療センター 看護部

小長光明子

新潟県立津川病院 薬剤部

吉野真樹

近畿大学病院 薬剤部

藤原季美子

③これからのIO治療の将来展望

～サバイバーシップの必要性について～

主催 日本がんサポーティブケア学会
Immuno-Oncology ワーキンググループ